

IV 緑の将来像と基本理念

1. 計画の基本理念

本計画では、公園・緑地の現況や市民が緑に求める機能などを踏まえ、狩野川や農地等の緑を活用するとともに、市街地内の緑を充実させることで、市全域を公園化させ、温泉街や歴史文化資源との回遊性を高め、市民をはじめ観光客等が公園・緑地に触れることで、憩いや潤いを感じることができる快適な緑の環境を創出していきます。

<基本理念>

**暮らしを彩り、みどりあふれた おもてなし
～伊豆の国、水と緑と歴史の京（みやこ）～**

2. 緑のまちづくりの方針

基本理念を受け、3つの緑のまちづくりの方針を位置付け、市内のどこでも公園・緑地が身近にある環境を享受できるまちづくりを進めます。

(1) 市民が愛し、観光客等を惹きつけてきた緑を「守る」

狩野川、城山・葛城山、江間や葦山の水田・イチゴ畑等の市街地を囲む自然の緑は、日常生活と密接に関係し市民に愛されてきたとともに、本市のランドマークとして観光客等を惹きつけてきました。また、生態系の保全や防災にも寄与するなど、様々な効能を本市にもたらしています。

このため、自然の緑を、市の財産として保全し、次世代に継承していきます。

(2) 市民の暮らしや観光客の体験を豊かにするため、緑を「創る・育てる」

市街地の緑は、まちの景観や街並みの美しさを向上させ、市民にゆとりや潤いのある生活をもたらしています。また、観光客に対しても、温泉街や歴史・文化資源周辺等において居心地の良い空間を提供し、もてなしや歓迎の意を伝えることで、観光体験を豊かにしています。

この市街地の緑は、市民・事業者・行政が力を合わせて作りあげてきたものであり、今後も協働で、創り、育てることを目指します。

(3) 活気を生み、活気を伝えるため、身近で豊かな緑を「活かす・使う」

本市では、年間を通じ、イベントや祭りが屋外で頻繁に行われ、多くの市民が参加しています。これらイベントの増加・PRにより、公園・緑地を使う市民の増加を図るとともに、今以上に、日常的に公園・緑地が使われる場所となることを目指します。

また、本市の山林や河川の緑の魅力を最大限に引き出すためには、その場に赴き、雰囲気を感じ、実際に「体験」する機会が重要です。このことは、トレッキングやカヌー等の体験者や、森で遊ぶ子供たちの生き生きとした姿からも伺えます。

このため、こうした「体験」の場の増加や、そこで活動する団体の輪を広げることで、より多くの方が緑を活かし、使うようになることを目指していきます。

3. 緑の将来フレーム

緑のまちづくりを推進する際の成果指標として、目標年次の平成 37 年における数値目標を設定します。

(1) 緑を「守る」ための数値目標

○ 市内の緑地総量*面積 約 6,239ha を維持

本市は緑豊かな自然環境に恵まれているものの、市街地の開発や管理されない山林や耕作放棄地の増加により、年々、緑地量が減少している傾向にあります。

このため、数値目標として、平成 37 年度の市内の緑地総量を、「現況維持の約 6,239ha」（平成 27 年 4 月 1 日時点）と設定し、緑地の維持・保全を図ります。

* 緑地総量とは、施設緑地（都市公園、公共施設緑地等、民間施設緑地）と地域制緑地を併せた面積計。

(2) 緑を「創る・育てる」ための数値目標

○ 市街化区域内では 500mメッシュごと、一人当たり都市公園面積 6.0 m²/人以上確保

市内のどこでも公園・緑地が身近にある環境を形成していくため、都市公園が充足していない市街化区域内の都市公園整備を促進します。

数値目標としては、市全域を 500mメッシュに細分化し、とりわけ、市街化区域のメッシュで、伊豆の国市都市公園条例の目標値である「市民一人当たり都市公園面積 6.0 m²/人以上」を目指します。なお、現時点では、市街化区域内の 500mメッシュにおいて都市公園が充足していないのは、伊豆長岡駅周辺 1 箇所、田京駅周辺 2 箇所となっています。

○ 公園・道路の緑化・美化に係る活動に、10 団体以上の参加

市街化区域内では、個別の緑の資源には恵まれているものの、それらを繋ぐネットワークが不足しているため、今後、協働で充足させる必要があります。

その充足を図る際の目標として、公園や道路の緑化及び美化に係る活動団体を、現在の 8 団体から「10 団体」以上の参加を促します。

(3) 緑を「活かす・使う」ための数値目標

○ 「公園など身近に親しめる広場の整備」の不満度を 20%以下まで低減

「緑を守る」、「緑を創る・育てる」に加え、「緑を活かす・使う」に取り組むことで、「公園など身近に親しめる広場の整備」の不満度を、平成 27 年の 32.5%から、平成 37 年には 20.0%まで低減することを目指します。

4. 緑の将来像

狩野川等の河川を緑の骨格を成す「軸」として、また市を代表し市民や観光客等に愛される城山・葛城山・源氏山等の緑を「拠点」として位置付けます。こうした「軸」や「拠点」、さらには将来に渡り、守り、受け継ぐ農地や山々の緑などの「自然の緑」や、街の魅力を高める公園などの「市街地の緑」により、「緑の将来像」を形成します。

(1) 緑の将来像の構成要素

① 軸となる緑

| | |
|---|---|
|  河川の緑 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 狩野川を代表とする河川を、軸となる緑に位置付けます。 ○ 狩野川とその支流の周辺については、安全性に配慮しつつ、自然環境を活かした交流機能の強化や、自然の豊かさや親しみを感じられる景観形成に努めます。 |
|  道路の緑 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国道 136 号や国道 414 号等の幹線道路を、河川の緑を補完する道路の緑に位置付けます。 ○ 緑の連続性、回遊性を高めるため、市街化区域内を中心に幹線道路の沿道緑化に努めます。 |

② 拠点となる緑

| | |
|---|---|
|  自然をみる、ふれる、体験する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本市のランドマークとして市民や観光客に愛される城山・葛城山を、また城池親水公園や市民の森浮橋を、自然をみる、ふれる、体験する拠点の緑に位置付けます。 ○ これらの拠点では、自然環境の保全やその活用促進を図ります。 |
|  歴史にふれる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 江川邸や願成就院周辺を、歴史にふれる拠点の緑に位置付けます。 ○ これらの拠点周辺では、歴史資源の価値を高める緑の維持・創出を図ります。 |
|  スポーツ・レクリエーション | <ul style="list-style-type: none"> ○ 葦山運動公園、さつきヶ丘公園を、スポーツ・レクリエーションの拠点の緑に位置付けます。 ○ これら公園では、公園施設の適切な維持管理や活用促進に努めます。 |
|  景観形成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 長岡温泉及び古奈温泉周辺、葦山反射炉周辺のほか、狩野川さくら公園、千歳橋堤外地公園を、景観形成を図る拠点の緑に位置付けます。 ○ 観光資源を活かし、引き立てる緑の景観形成に努めます。 |

③ 市街地の緑（市街地を囲む緑）

| | |
|---|---|
|  農地の緑 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地周辺の農用地を、市街地を囲む緑に位置付けます。 ○ 農地の持つ防災機能や環境保全機能を保持するため、今後も法の位置付けのもと、適切に維持・保全を図るとともに、観光農園等によりその活用促進を図ります。 |
|  山林の緑 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 風致地区、保安林、国立公園など法の指定のある緑を、市街地を囲む緑に位置付けます。 ○ これらの緑は、本市の景観の重要な要素であり、また防災や環境保全にも寄与しているため、今後も適切に維持・保全を図ります。 |

④ 市街地の緑（身近な緑）

| | |
|--|--|
|  住区基幹公園 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市公園のうち住区基幹公園を、市民に身近な市街地の緑に位置付けます。 ○ 市民の暮らしの質を高め、日常を豊かにするための施設として、地域の利用を促していきます。 |
|  緑地確保エリア | <ul style="list-style-type: none"> ○ 伊豆長岡駅周辺、田京駅周辺を、今後、市都市公園条例の目指す公園確保目標に向けて、緑地整備を検討する緑地確保エリアに位置付けます。 ○ 公共施設用地や空き家、空地などの低未利用地を活用し、緑地整備を検討していきます。 |

⑤ 緑化重点地区

| | |
|---|--|
|  緑化重点地区 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地のうち、訪れた人々（市民、観光客等）を歓迎し、緑の豊かさを実感していただく場所として、狩野川、長岡・古奈温泉周辺、葎山反射炉周辺を、緑化重点地区に位置付けます。 ○ 緑化重点地区では、協働による緑化及び緑地の利活用に取り組み、その動きを周辺市街地にも波及させることで、市街地全体での緑化の取り組みを促進していきます。 ○ このことにより、公園・緑地が充足していない地区の解消や、緑の連続性・回遊性を高めていきます。 |
|---|--|

